

令和4年度 社会科 1年歴史 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

< 2 > 歴史的分野の目標

- (1)我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2)歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3)歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切についての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

知識・技能	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①思考力・判断力・表現力の育成。→生徒の言語活動を充実させる指導。
- ②自主的・自発的な学習の促進。→体験的な学習や問題解決的な学習。 発展的な学習
- ③学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習。
- ④個に応じた指導の充実。→ 個別指導 グループ別指導 繰り返し指導 課題学習 補充的な学習

社会科 1 学年 歴史的分野 年間指導計画・評価計画

【評価の観点】知識・技能＝知技、思考・判断・表現＝思判表、主体的に学習に取り組む態度＝態度

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
6	■導入の活動(歴史の流れ) 時期や年代の表し方 年表を読み取ろう 歴史の流れのとりえ方 年表にまとめよう 時代の特色のとりえ方	- 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 - 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。 - 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現する。 - 歴史の表現方法や歴史的な見方、考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。	- 年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。(知技) - 資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめることができる。(知技) - 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。(思判表) - 歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)
	人類の出現と進化 人類の出現 旧石器時代 新石器時代	- 人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。 - 土器や石器の発明によって、人々の生活が変化したことを理解する。	人類の進化の過程や、人々の生活の変化を理解している。(知技)
	古代文明のおこりと発展 文明のおこり エジプト文明 メソポタミア文明 インダス文明	古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所に着目して考察し、表現する。	古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所などの共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)
	中国文明の発展 中国文明の発生 秦の中国の統一 漢の成立	- 中国の古代文明の特徴を、様々な資料を通して理解する。 - 中国の古代文明が日本に与えた影響について理解する。	- 中国の古代文明について、殷から漢までの大きな流れを理解している。(知技) - 中国から日本へ伝わった文物の特徴を理解している。(知技)
7	ギリシャ・ローマの文明 ギリシャの都市国家 ヘレニズム	- ギリシャ・ローマの文化と政治や社会の仕組みの特色を理解する。 - ギリシャ・ローマ文明の特徴について現在のヨーロッパ文化との関係に着目	- 写真資料などを通して、ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを理解している。(知技) - ギリシャ・ローマ文明の特徴について、

	ローマ帝国	して考察し、表現する。	現代ヨーロッパとの共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)
	宗教のおこりと三大宗教 宗教のおこり 仏教のおこり キリスト教のおこり イスラム教のおこり	- 古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。 - 宗教がおこった地域の特徴について位置や場所に注目して考察し、表現する。	- 仏教、キリスト教、イスラム教の特徴を理解している。(知技) - 三大宗教が成立した地域が、西アジアやインドなど、古代文明が発展した地域と重なっていることを考察し、表現している。(思判表)
	旧石器時代と縄文時代の暮らし 旧石器時代の暮らし 縄文時代の暮らし	日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を理解する。	様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している。(知技)
	弥生時代の暮らしと邪馬台国 弥生時代の始まり 国々の成立 邪馬台国	- 弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解する。 - 弥生時代に日本の国家が形成されていく過程について、東アジアとの関わりに着目して考察し、表現する。	- 弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解している。(知技) - 中国の文献などから、国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表)
	大王の時代 大和政権の発展 古墳時代の文化 中国・朝鮮半島との交流	- 大和地方を中心に国内が統一されたことを理解する。 - 大和政権の統一に関して、朝鮮半島の影響に着目して考察し、表現する。	- 大和政権の国内統一の過程を、古墳の分布や鉄剣などの資料を通して理解している。(知技) - 大和政権の国内統一の動きが朝鮮半島との交流の影響を受けていることに着目して考察し、表現している。(思判表)
	聖徳太子の政治改革 朝鮮半島の動乱と隋の中国統一 聖徳太子と蘇我氏 飛鳥文化	- 聖徳太子や蘇我氏が目指した政治や、この時代の文化の特色を理解する。 - 聖徳太子などの政治の特色について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。	- 聖徳太子や蘇我氏が行った政治の特色を理解している。(知技) - 聖徳太子などの政治の特色について、隋との関係に着目して、その影響を受けたことを考察し、表現している。(思判表)
	東アジアの緊張と律令国家への歩み 唐の成立と東アジアの緊張 大化の改新 白村江の戦いと壬申の乱	- 大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。 7世紀の国内の情勢を、東アジアの動きに着目して考察し、表現する。	- 大化の改新と、その後の律令国家への展開を理解している。(知技) - 律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きに関連付けて考察し、表現している。(思判表)
8	律令国家の成立と平城京 大宝律令	- 律令制度の内容を基に、古代国家の仕組みを理解する。 - 古代国家の仕組みについて、中国	- 律令制度による古代国家の仕組みを理解している。(知技) - 律令による古代国家の仕組みについて

	平城京 地方の仕組み	の影響に着目して考察し、表現する。	中国の影響と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	奈良時代の人々の暮らし 人々の身分と負担 土地の私有と荘園	・奈良時代の人々の生活を理解する。 ・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度に着目して考察し、表現する。	・奈良時代の人々が様々な税を負担していたことを理解している。(知技) ・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
9	天平文化 天平文化 奈良時代の仏教 歴史書と万葉集	・代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。 ・天平文化の特色について、遣唐使の活動に着目して考察し、表現する。	・天平文化が国際色豊かな文化であることを理解している。(知技) ・天平文化の特色について、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	平安京と律令国家の変化 平安京 律令国家の変化 新しい仏教の動き 東アジアの変化	・平安遷都によって、政治や社会にどのような変化があったかを理解する。 ・平安時代初めの政治について、奈良時代までの政治と比較して考察し、表現する。	・桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。(知技) ・平安時代初めの政治について、支配領域の拡大や仏教の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	摂関政治の時代 藤原氏と摂関政治 新しい税と国司の変化	・摂関政治や地方政治の変化から、平安時代の政治の特色を理解する。 ・平安時代の政治の特色について、これまでの政治の在り方との違いに着目して考察し、表現する。	・10世紀に、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している。(知技) ・10世紀の政治の在り方を、それまでからの変化に着目して考察し、表現している。(思判表)
	国風文化 唐の滅亡と宋の商人 国風文化 浄土信仰	・国風化した文化の特色を理解する。 ・国風文化の形成について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。	・仮名文字の成立や文学作品などから、日本独特の国風文化の特色を理解している。(知技) ・国風文化の形成について、大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表)
10	武士の成長 武士の登場 武士団の形成 荘園・公領での武士の役割	・武士が次第に勢力を広げたことを、戦乱に着目して考察し、表現する。	・武士の成長の過程を、導入資料などから読み取っている。(知技) ・武士が次第に勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	院政から武士の政権へ 院政と武士 平清盛の政権	・平氏の政治の特色を、摂関政治と比較して考察し、表現する。	・源義経などの人物を中心に、源平の争いの経過について理解している。(知技) ・平氏の政治の特色を、摂関政治との共通点に着目して考察し、表現している。

			(思判表)
	鎌倉幕府の成立と執権政治 鎌倉幕府の始まり 執権政治	・鎌倉幕府の特色について、主従制度や承久の乱に着目して考察し、表現する。	・鎌倉幕府の特色について、将軍と御家人の関係や幕府と朝廷の関係に関連付けて考察し、表現している。(思判表) ・文字資料から、幕府と朝廷との勢力関係将軍と御家人との関係を読み取っている。(知技)
	武士と民衆の生活 地頭の支配 武士の生活 農業と商業の発達	・鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭や産業に着目して考察し、表現する。	・鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達と、それに伴う生活の向上について理解している。(知技) ・鎌倉時代の武士や庶民の生活について地頭による荘園支配や、定期市などの産業の発達と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	鎌倉時代の文化と宗教 鎌倉文化 鎌倉仏教	・鎌倉時代の文化や宗教の特色について、これまでの時代との違いに着目して考察し、表現する。	・鎌倉時代の文化や宗教の特色について文化の担い手の変化に関連付けて考察し、表現している。(思判表)
11	モンゴル帝国とユーラシア世界 遊牧民の生活 モンゴル帝国の拡大 ユーラシア世界の形成	・モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸内の結び付きに着目して考察し、表現する。	・モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸の一体化とその影響に関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	モンゴルの襲来 二度の襲来 鎌倉幕府の滅亡	・モンゴルの襲来と日本への影響について、主従関係に着目して考察し、表現する。	・モンゴルの襲来と日本への影響について、御家人の動きと関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	南北朝の動乱と室町幕府 南北二つの朝廷 守護大名と地方の動き 室町幕府の支配の確立	・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ・室町幕府の特徴を鎌倉幕府の仕組みと比較して考察し、表現する。	・守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。(知技) ・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や、動乱がもたらした武家社会の変化を考察し、表現している。(思判表)
	東アジアとの交流 日明貿易 朝鮮との貿易 琉球王国の成立 アイヌ民族の交易活動	・東アジアの人々の交流や結び付きを理解する。	・日明貿易の様子、中継貿易で栄えた琉球や蝦夷地の動きなど、東アジアの人々との交流や結び付きを理解している。(知技)
	産業の発達と民衆の生活 農業の改良と手工業の発展 商業の発展と都市の成長	・畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や産業の発達に着目して考察し、表現する。	・畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や商業・手工業の発達や土一揆と関連付けて考察し、表現してい

	村の自治		る。(思判表)
	応仁の乱と戦国大名 応仁の乱 社会の変化と戦国大名の登場 戦国大名の支配の在り方	・応仁の乱による社会の変化について戦国大名の支配に着目して考察し、表現する。	・応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	室町文化とその広がり 室町文化 民衆への文化の広がり	・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。 ・この時代に生まれた文化で、現代に受け継がれているものに関心を持つ。	・武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。(知技)
1	中世ヨーロッパとイスラム世界 中世のヨーロッパ イスラム世界の拡大 十字軍	・古代のローマ帝国の分裂とそれに伴うキリスト教会の分裂を理解する。 ・資料から、イスラム世界の広がりと文化の先進性を理解する。 ・十字軍の動きを通して、イスラム文化がヨーロッパに伝わったことを理解する。	・中世のヨーロッパ世界と同時期のイスラムの世界の成立と、両者の関係を理解している。(知技)
	ルネサンスと宗教改革 ルネサンス 宗教改革 近世への移り変わり	・ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する。	・ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界に及ぼした変化を理解している。(知技)
	ヨーロッパ世界の拡大 大航海時代 アメリカ大陸の植民地化 オランダの台頭	・アメリカ大陸とアフリカ大陸の様子から、ヨーロッパの世界進出の影響を理解する。 ・主にアジアとイスラム商人との関係から、ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考察し、表現する。	・ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響を理解している。(知技) ・ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し、表現している。(思判表)
	ヨーロッパ人との出会い 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と広まり 南蛮貿易とキリシタン大名	・掲載資料から、ヨーロッパ人が日本にもたらしたものを理解する。 ・掲載資料から、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を理解する。	・ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解している。(知技)
	織田信長・豊臣秀吉による統一事業 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の全国統一 宣教師の追放	・織田信長と豊臣秀吉によって全国が統一されたことを理解する。 ・バテレン追放令から、豊臣秀吉のキリスト教対策を理解する。 ・織田信長の政策から、商工業が発達した理由を考察し、表現する。	・織田信長と豊臣秀吉による統一事業の過程を理解している。(知技) ・豊臣秀吉がキリスト教の信仰自体は禁止せず、貿易を続けていたことを理解している。(知技) ・織田信長の政策が商業を発達させたこ

			とを考察し、表現している。(思判表)
	兵農分離と秀吉の对外政策 太閤検地と刀狩 朝鮮侵略	・朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響を理解する。 ・太閤検地と刀狩によって、社会がどのように変化したかを考察し、表現する。	・資料から朝鮮侵略の過程とその影響を理解している。(知技) ・兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。(思判表)
	桃山文化 天下統一と豪壮な文化 芸能と生活文化の展開 南蛮文化	・ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。 ・桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し、その特色が生まれた理由を考察し、表現する。	・ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。(知技) ・桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。(思判表)